



45005 はじめてのお話作り

独自の物語を創作するための5つのアイデア
年齢:3-5才 * 子ども2-4人向け



他にもたくさん
アクティビティ
があります。
ウェブサイト
をチェック!

LEGOeducation.com

LEGO and the LEGO logo are trademarks of the/son des marques de commerce de/son marcas registradas de LEGO Group.
©2014 The LEGO Group. 076496.

ヒント:

いくつかの背景カードを使った後で、子どもたちが自分独自の背景カードを作れるように材料を提供したいと思うかもしれません。

学習分野

- * 認知発達
- 出来事を順番に並べて問題を解決します
- * 言語の発達
- アイデアを効果的に伝えます
- * 社会性と感情面の発達
- 役割と責任概念を芽生えさせます

5つのアイデア:

* 物語を話すときに使う、「とつぜん」「そしてそのあと」「次に」など、ワクワクする単語について子どもたち全員での話し合いを取り持ちましょう。こうした単語のリストを作って、一緒に物語を組み立てるときにそれらを使うように子どもたちを促しましょう。

* 子どもたちを誘って、お話を創作して組み立てるように呼びかけましょう。子どもたちが共同でお話を組み立てることに慣れていない場合、誰がそれぞれの部分を組み立てるかというプランを策定するように依頼して、学習を手助けしましょう。支援するために、1冊の本を選んで、その挿絵を基にお話を組み立てるよう子どもたちを仕向けます。



* ペアで1つの基礎板を使うように子どもたちに促しましょう。

* 1人の子が物語を組み立て終わったら、ほかの子にそれがどんな筋書か想像してもらいましょう。その後、物語を組み立て終わった子に筋書を披露してもらい、2つのバージョンを比較しましょう。同じ枠組みを持っていても考えは、いかに異なる可能性があるのかを指摘してください。

* お話を組み立てたら、子どもたちにそのセットを使って自分たちのお話を演じてもらいましょう。役者、監督、舞台監督などの異なる役割とそれぞれの機能を誰が担当するのか(例えば適当な時期に背景カードを変える担当者は誰なのか)を決めるように子どもたちを促します。